

とうふねこ座：市川雅子 画

まちがいさがし クイズ

問題

上下の絵を見くらべて、
まちがいを8カ所見つけてください。

応募方法

ハガキまたはファクスに、答え(右の絵に○をつける)と住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号・広報紙の感想などを書いて応募してください。なお、当選者のお名前を広報がまごおり9月号に掲載しますので、ご了承ください。

送り先

〒443-8601 旭町17番1号
企画広報課「クイズ」係
FAX66♦1190

応募締切

7月16日(金)当日消印有効

プレゼント

全問正解された方のうち、抽選で10人の方にクオカードもしくはユトリーナバーデゾーン無料利用券をプレゼントします。なお、賞品は9月初旬ごろ郵送します。



◆5月号の答え



「生首が笑った話」(蒲形村)

蒲形村に元氣のよい、ちよつと変わり者の漁師がいた。むかし理由は分からないが庚申の夜に漁をしてはならないという言い伝えがあったが「みんながでかけなきゃあ獲物をひとり占めにでき、ちよつどいいじゃないか」とわざわざ庚申の夜に漁に出かけた。

蒲形の南の海岸には庚申塚があり、その辺りは隣に葬場があつて竹藪つづきのさみしい所で、時々は鬼火が見えるといわれていた。その夜はひとり占めにはなるはずの獲物が何度網を入れてみても、いつこつにからずさすがの元氣な漁師もくさりきつてしまった。これを最後にと網を入れて引き上げると、手こたえありシメシメと喜んだ。漁師は手元に網をたくってよくよく見ると、網にかかったのは眞新しい人間の生首だった。

びっくりした漁師は、にわかにおじけついで生首を海に捨てて逃げるように陸に上がった。家の帰りに山の辺りにさしかかった時、むこつから夜目にもはつきりした白髪の老人がやってきて、「何か漁があったかい。」と訪ねられた。生首におじけついでいるので、何もいわずに手を振って通り過ぎようとする、老人は「当ててみようか。こんなのがかかったらどうが。」と言いながらケラケラ笑った。ソツと寒気を感じてよく見ると、足元に笑った生首が転がっていた。それから漁師は熱を出して寝込んでしまったとつた。

5月号クイズまちがいさがし(稲村が崎)の答え

応募総数82通 正解者63人

当選者(敬称略・50音順)

| | | | | | | | |
|-----|------|------|-------|-----|------|-----|------|
| 形原町 | 天野恵子 | 中央本町 | 板倉政孝 | 三谷町 | 小田敏子 | 水竹町 | 小田美菜 |
| 府相町 | 小山二葉 | 西浦町 | 酒井加代子 | 形原町 | 中村清良 | 三谷町 | 平野華帆 |
| 竹谷町 | 宮平綾香 | 三谷北通 | 山川和輝 | | | | |

おめでとうございます。賞品は7月初旬に発送します。